EEW100

取扱説明書

REIC
Real-time Earthquake Information Consortium
リアルタイム地震情報利用協議会

緊急地震速報
来る前に知る

ALEXON

㈱アレクソンは、『リアルタイム地震情報利用協議会（REIC）http://www.real-time.jp/」に加盟しております。

㈱アレクソンは、緊急地震速報利用者協議会http://www.eewrk.org/」に加盟しております。

本機はNHK ラジオで運用されている 緊急地震速報」を基に開発された機器です。
本機の 緊急地震速報」受信動作については、製造メーカである弊社にて十分な確認を行っておりますが、緊急地震速報を伝えるNHK ラジオ局及び同手法で運用している各民放ラジオ局が、保証及び責任を負うものではございません。

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
本文をよくお読みいただき、内容をよくご理解のうえ、正しくご使用ください。

■絵表示の説明

表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性が切迫して生じることが想定される場合。
⚠警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合か、軽傷または、物的損害※が発生する頻度が高い場合。
⚠注意：取扱いを誤った場合、使用者が重傷を負う可能性は少ないが、傷害を負う危険性が想定される場合、ならびに物的損害※のみの発生が想定される場合。

※物的損害とは、家屋家財及び家畜ペットに関わる拡大損害を示しています。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し説明しています。

△ マークは、危険、警告を含む「注意」を示しています。

左図の例は、「特定しない一般的な注意、警告、危険の通告」を示しています。

⃠ マークは、してはいけない「禁止」を示しています。

左図の例は、「分解禁止」を示しています。

● マークは、必ず実行していただく「強制」や「指示」を示しています。

左図の例は、「差込プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。

輸出する際の注意事項

注意　本機（ソフトウェアを含む）は、日本国内向けの製品です。海外の規格などには準拠しておりません。本機を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。あらかじめご了承ください。
This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

本機の取り扱い注意、保証、免責に関する付則

（1） 本書及び本機の内容の一部又は全部を無断で複写、複製することを禁じます。
（2） 本書及び本機の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
（3） 本機は、緊急地震速報を受信しスピーカーに出力する機器であり、地震予知や災害の軽減を保証するものではありません。　地震に起因する全ての損失や損害、および事故に対しては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
（4） 本機の故障、誤動作、不具合あるいは停電時の外部要因によって生じた損害等の純正経済損失につきましては、いっさいその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
（5） 本書及び本機は内容について万全を期していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがございましたら、ご連絡ください。
（6） 本機（ハードウェア、ソフトウェア及び関連文書）を運用した結果については、（5）項に関わらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
（7） 設定値を保存中に停電が発生した場合など、設定データが異常になることが有ります。その場合は再起動時に全ての設定値を初期化しますので、再度設定をやり直してください。

警告

●煙、変な音・においがする等、異常な状態が発生したら、すぐに電源プラグを抜く。
そのまま使用しないでください、火災や感電の原因となります。
このような時は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売会社か弊社にお問い合わせください。

●必ず、ＡＣ１００Ｖ（５０/６０Ｈｚ）の電源電圧で使用する。
●たこ足配線等、コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない。
定格を超える電源電圧で使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

●本機の上や近くに水や飲料水等の液体、ヘアースプレー等、可燃物の入っている容器を置かない。
●水・薬品等が、本機にかからないようにする。
●本機の中に異物（液体，可燃性の気体，金属，燃えやすいもの）を入れない。
火災や感電、故障の原因となります。
万一異物が入った場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売会社か弊社にお問い合わせください。

●本機カバーをはずしたり、分解や改造をしない。
火災や感電、故障の原因となります。
修理の際は、お買い上げの販売会社か弊社にお問い合わせください。

●コードに重い物をのせたり、熱器具等に近づけたりしない。
●コードを加工したり、無理に曲げたり引っぱったりしない。
電源コードが損傷すると、火災や感電、故障の原因となります。
コードが損傷した場合は、お買い上げの販売会社か弊社にお問い合わせください。

●本機を落としたり、破損した場合は、そのままで本機を使用しない。
そのままの状態で使用すると火災や感電、故障の原因となります。
電源プラグと接続ケーブル類をすべて抜き、お買い上げの販売会社か弊社にお問い合わせください。

●アース線を接地する。
本機のアース端子を使用し、必ず接地するようにしてください。
アース線を接地しないと、火災や感電、故障の原因になることがあります。

●極めて高い信頼性や安全性が必要とされている機器と接続しない。
幹線通信機器や業務の中心となるコンピュータシステム、人命に直接関わる医療機器のような、極めて高い信頼性、安全性が必要とされる機器と本機を接続しないでください。

⚠ 注意

●本機は日本国内でのみ使用。
国外での使用は、電源電圧等の問題により本機が故障することがあります。

●外部機器と接続する場合、音量は最小から調整する。
放送設備などの外部スピーカーと本機を接続する前に本機の音量を最小に設定してから、外部スピーカーと本機を接続して、徐々に音量を上げて調整してください。
突然大きな音が出て、放送設備の故障の原因となります。

●スピーカーの音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災や故障の原因となります。

●本機の上に物を置いたり、本機の上にのらない。
けがや故障の原因となります。
特にお子様のいらっしゃるご家庭では、注意してください。

●外部機器との接続コード、アンテナ･コードを接続した状態で本機を移動させない。
コードを接続した状態で本機を移動させると、コードが傷つき、感電や火災の原因となります。
コードを接続した状態で本機を移動させると、けがの原因になることがあります。

●電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張って抜かない。
電源プラグを抜く時は、必ず電源プラグ側を持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると、電源コードが損傷し火災や感電、故障の原因となります。

●ぬれた手で電源プラグにさわらない。
ぬれた手で電源プラグを抜いたり、差し込んだりしないでください。
感電や火災、故障の原因となります。

●電源プラグを差し込んだとき、電源プラグがグラグラするコンセントは使用しない。
感電や火災の原因となります。

●電源プラグは、コンセントに根元まで差し込む。
コンセントへの差し込みが不十分な場合、発熱したり、ゴミやホコリが付着して火災や感電の原因となります。

●電源プラグとコンセントの定期点検を。
電源プラグとコンセントは長時間つないだままだと、ほこり等がたまります。
そのままの状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。
年に一度は定期的な点検を行い、接触不良等の確認をしてください。

●お手入れの時は。
本機の本体が汚れた場合は、やわらかい布に水または中性洗剤を含ませ、よく絞ってから軽く拭いてください。
薬品類（ベンジン・シンナー等）は使わないでください。
変質・変色する場合があります。
また、外部機器接続部にほこり等がたまった場合は接続機器をはずし、機器を傷つけないよう軽く乾拭きしてください。
いずれの場合も、必ず電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルを全て抜いてから行ってください。

⚠ 設置に関する注意

●本機をラック内等、密閉された場所に置かない。
●本機を積み重ねて使用することはしない。
風通しの悪い場所に置くと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

●温度が高くなる場所に置かない。
直射日光の当たる場所や、発熱する器具の近く等、高温になる場所に置かないでください。
内部に熱がこもり、火傷や火災、故障の原因となります。

●湿気やほこりの多い場所に置かない。
●調理台や加湿器の近くなど、油煙や蒸気が当たる場所に本機を置かない。
●水・薬品等が、かかる場所に本機を置かない。
火災や感電、故障の原因となります。

●テレビのすぐ近くに置かない。
テレビのすぐ近くに置くと、受信障害が発生する恐れがあります。

●不安定な場所やお子様の手の届く場所に置かない。
強度の足りない台の上、ぐらついた台の上、本機より面積が小さい場所の上、
傾いた場所、衝撃や振動の加わる場所等に置かないでください。
またお子様の手の届く場所に置かないでください。
落下・倒れで、けがや故障の原因となります。

●指定以外の方法で設置しない。
本機で指定する以外の方法で設置しないでください。
また布等でくるんだ状態での使用をしないでください。
火災や故障の原因となります。

●本機規格外の機器を接続しない。
本機の各端子に他の機器を接続する場合、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み
電源プラグを抜いている状態で、説明書に従って接続してください。
本機の各接続端子には、本機規格外の機器は接続しないでください。
本機規格外の機器を接続すると、本機及び接続機器が正常に動作しません。
火災や感電、故障の原因となります。

本機の保証について

●保証期間中
保証書の記載内容に基づいて修理させて頂きます。ただし、弊社では設置工事・出張修理は
行っておりません。
●保証期間を過ぎている場合
修理によって使用できる場合は、ご要望によって有償で修理させて頂きます。
ただし、補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造
打ち切り後５年とさせて頂きます。

目次

1 製品の構成（梱包内容） 1

2 特徴 1

3 ＥＥＷ１００接続例 2

4 各部の名称とはたらき 3

4.1 正面図 3
4.2 背面図 4

5 表示ランプ 5

5.1 FM バンド・ランプ 5
5.2 AM バンド・ランプ 5
5.3 マルチパネル 5
5.4 ドット・ランプ 5

6 操作キー 6

6.1 AM/FM 6
6.2 －選局＋ 6
6.3 SP/LINE 6
6.4 －音量＋ 6
6.5 調整 7
6.6 訓練 7
6.7 キーロック 7
6.8 サーチ 8
6.9 内部スピーカー（背面スイッチ） 8

7 ＥＥＷ１００の設置 9

7.1 アンテナ接続 9
7.2 選局設定 11
7.3 ライン入出力接続 13
7.4 メーク端子接続 15
7.5 キーロック 16
7.6 キーロック解除 17

8 ＥＥＷ１００の運用時の動作 18

8.1 緊急地震速報の受信待機中の動作 18
8.2 緊急地震速報の通報動作 18

9 ＥＥＷ１００を使用した訓練 19

10 ＥＥＷ１００定期点検 20

11 選局周波数 21

12 停電からの復旧 26

13 故障かな？と思ったとき 26

14 主な仕様 27

15 オプション 27

1 製品の構成（梱包内容）

ご購入いただいた製品には次のものが含まれています。ご確認ください。
足りないものがあるときは、お買い上げいただいた販売店にご連絡ください。

項　　目	数
本体	1台
AMアンテナ※1（ループアンテナ）	1台
FMアンテナ※1（L型）	1本
両面テープ（アンテナ固定用）	1枚
取扱説明書（兼保証書）	本書

注意：接続に必要なケーブルは別途ご用意ください。

※1 設置場所により、緊急地震速報を受信するのに十分な感度を得られないことがあります。
その場合、市販の高感度アンテナをご購入のうえ、本機に接続してください。
詳しくは「3.EEW100接続例」をご参照ください。

● 本書に記載されている各会社名及び各製品名は、各社の商標又は登録商標です。

2 特徴

EEW100（以後、本機）は、緊急地震速報※1のみを自動受信する専用装置です。

- キーロック運用中（以後、運用中）は、緊急地震速報以外の内容を内部スピーカーとライン出力端子に出力しません。
- 本機のライン入出力端子で、通常の構内放送に割込んで緊急地震速報を放送させることができます。
- 本機はメーク端子を2系統搭載しており、ページングアンプや回転灯を起動して、緊急地震速報を知らせることができます。
- 『訓練モード』※2があり、避難訓練等でご活用いただけます。
- 各種設定はメモリーに自動保存し、停電復旧時は自動保存した設定の内容で起動※3します。

※1 緊急地震速報　：気象庁が、最大震度5弱以上の強い揺れを予測した場合、震度4以上が予測される地域を一般に発表します。

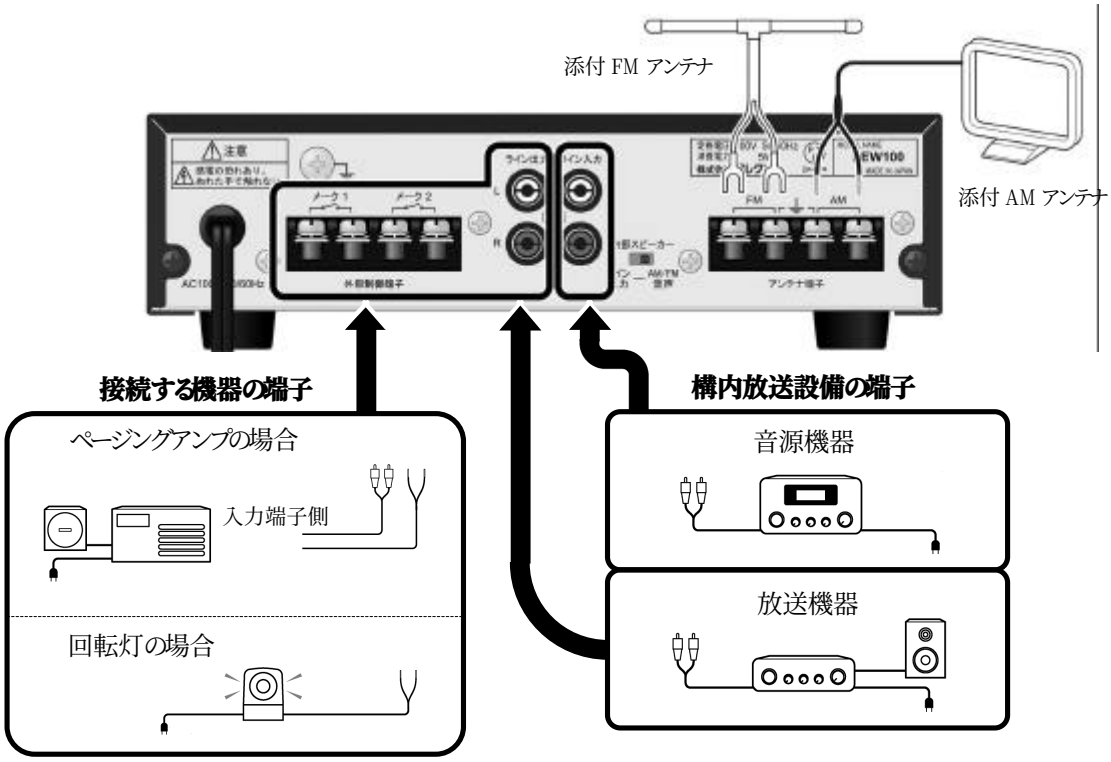
※2 訓練モードで使用するメッセージは、訓練用固定メッセージです。
実際の緊急地震速報のメッセージ内容と異なっています。

※3 設定内容が壊れていた場合、工場出荷値で起動します。

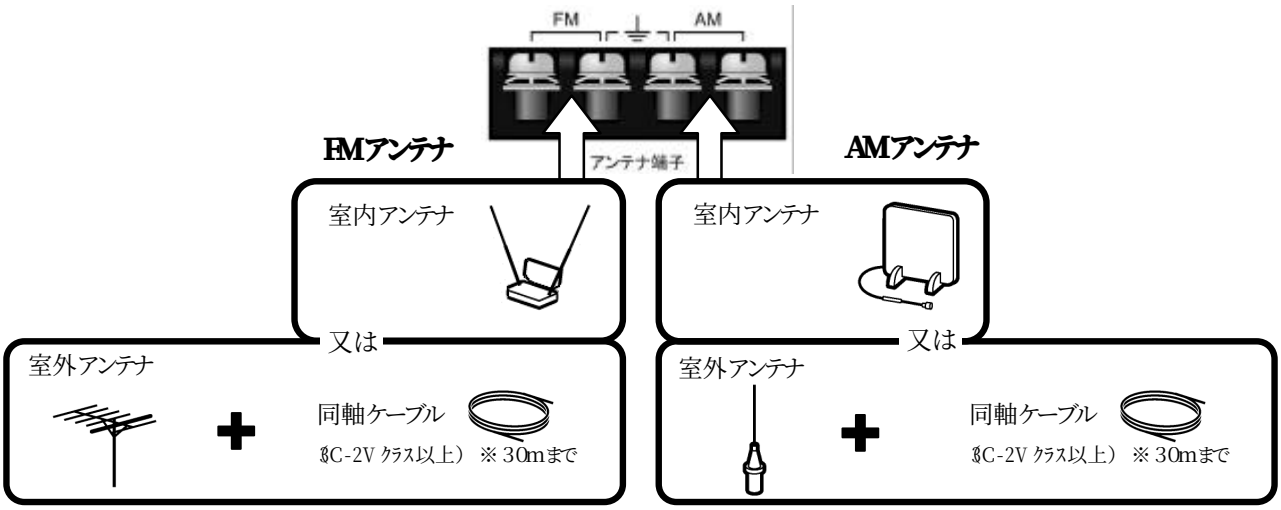
ご注意

- 緊急地震速報は、報知音が数回流れた後に地震についての情報が放送されます。
本機は緊急地震速報に含まれる報知音を2回連続で検出した時に動作するため、検出途中の報知音は内部スピーカ及びライン出力では聞こえません。
- 本機は「緊急警報放送(EWS)」には対応しておりません。

3 ＥEW１００接続例



添付のAM アンテナ, FM アンテナで、緊急地震速報を受信するのに必要な電波の強度が得られない場合、設置状況にあわせて別途部品をご用意ください（下記参照）。
推奨アンテナなど詳細につきましては、弊社までお問い合わせください。

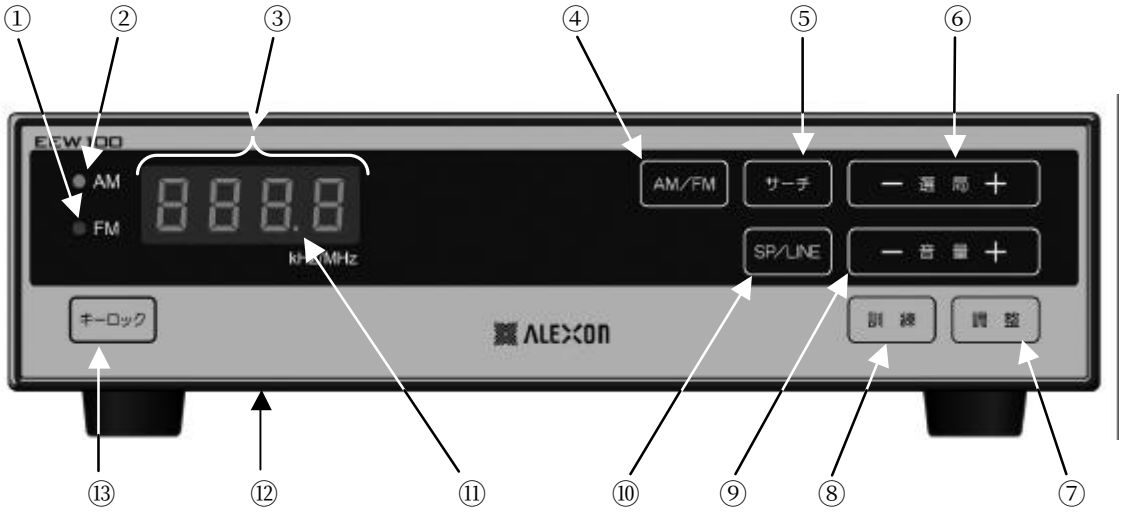


ご注意

- 本機に、他の機器を接続する場合、各接続ケーブルの長さは「5m未満」にしてください。
  各接続ケーブルの長さを「5m以上」にすると、正常に動作しないことがあります。
- 本機の各接続端子に他の機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、取扱説明書に従って接続してください。
- 室外アンテナには、落雷防止の対策を行ってください。　火災や感電、故障の原因となることがあります。
- 音声に雑音があると、緊急地震速報を正常に受信できないことがあります。雑音がないようにアンテナを調整してください。
- 本機 FM アンテナ端子のインピーダンスは、75Ωです。

4 各部の名称とはたらき

4.1 正面図



番号	名称	表示内容
①	FM バンド・ランプ	FM 放送の受信感度を表します。
②	AM バンド・ランプ	AM 放送の受信感度を表します。
③	マルチパネル	操作により、周波数や音量を表示します。
④	AM/FM	速報をAM 放送／FM 放送どちらで受信するかを選ぶキーです。
⑤	サーチ	電波が強い周波数を探します。
⑥	－選局＋	周波数を調整するキーです。
⑦	調整	本機を外部の設備に接続するための調整モード・キーです。
⑧	訓練	地震に対しての避難訓練を行うための訓練モード・キーです。
⑨	－音量＋	・キーロック中は電波低下警告音の有効／無効を設定※1します。 ・通報動作時の内部スピーカー/ライン出力の音量調整キーです。
⑩	SP／LINE	SP（内部スピーカー）/ライン出力どちらの音量調整をするかを決めるキーです。
⑪	ドット・ランプ	・キーロック中は、電波低下警告音の設定を表します。 点灯：有効　消灯：無効 ・キーロック解除中にFM バンドを選択している場合は、 周波数の小数点を表します。
⑫	SP	本体底面に、内部スピーカーがあります。
⑬	キーロック	キーロック開始／解除のキーです。

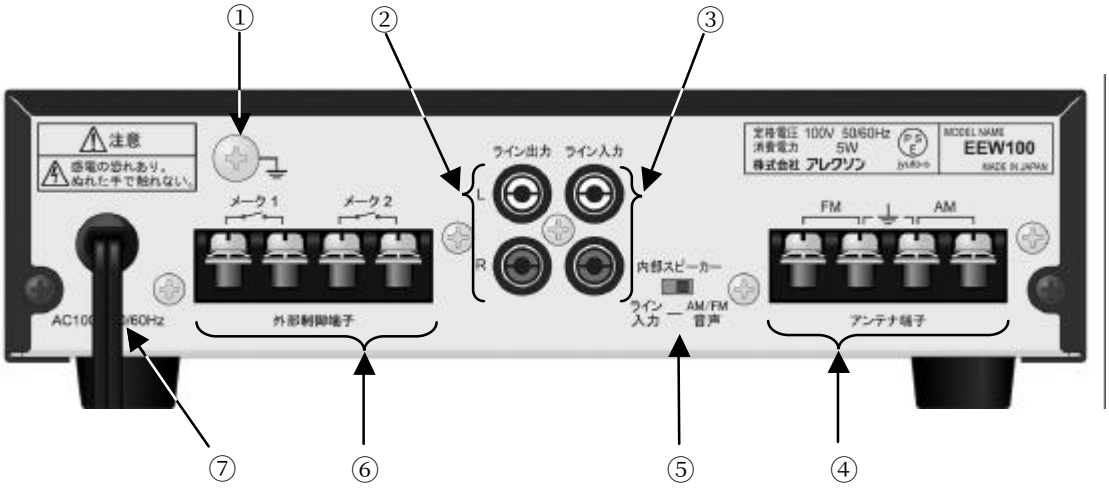
※1 詳細は「7.5 キーロック」をご参照ください。

サーチ，調整，訓練，キーロック は長押し(2 秒間押下)で反応します。
- 選局 +，- 音量 + は長押しすると動作が早くなります。

ワンポイント

- キーの押下を受け付けたときに、「ピッ」（受付音）と鳴ります。
- キーの長押しを受け付けたときに、「ピッピッ」（長押し受付音）と鳴ります。
- 動作モードの停止を受け付けたときに、「ブー」（停止音）と鳴ります。

4.2 背面図



番号	名称	内容
①	アース	接地アース接続ねじ（M4）端子です。
②	ライン出力	他の機器への音声信号を出力する接続端子です。 ・RCA ピンジャック（1系統） ・-10dBV ～ -60dBV 以下(接続先のインピーダンスが5kΩの時)
③	ライン入力	他の機器から音声信号を入力する接続端子です。 ・RCA ピンジャック（1系統） ・-22dBV/10kΩ
④	アンテナ端子	速報を受信するためのAM／FM 外部アンテナを 接続する端子です。
⑤	内部スピーカー （・ライン入力 ・AM/FM 音声）	内部スピーカーの動作切換用スライドスイッチです。 「6.9 内部スピーカー 背面スイッチ」をご参照ください。 ・モノラル（0.5W） ・工場出荷時 ：AM/FM 音声
⑥	外部制御端子 （メーク1, メーク2）	ページングアンプや回転灯等の起動に使用する端子です。 ・無電圧接点方式（抵抗負荷：DC 30V, 1A） ・メーク1, メーク2は、連動して動作します。
⑦	電源コード	電源コンセント（AC100V, 50Hz/60Hz）に接続。

ワンポイント

メーク端子に回転灯などの外部機器を接続すると、本機出力に雑音が入ることがあります。
その場合、外部機器と本機をアースすると雑音が低減します。

ご注意

- 本機の各接続端子に他の機器を接続する場合は、本機の電源が入っていない状態で行ってください。
- 本機の各接続端子に他の機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、説明書に従って接続してください。
- 本機の各接続端子には、本機規格外の機器を接続しないでください。

5 表示ランプ

5.1 FMバンド・ランプ

・FM バンドを選択していることを表します。
・点灯　：選局した周波数の電波を受信している状態を表します。
・点滅　：選局した周波数の電波を受信できていない(電波が弱い)状態を表します。
　　点滅状態では、緊急地震速報を受信できません。
・消灯　：FM バンドが選択されていません。

5.2 AMバンド・ランプ

・AM バンドを選択していることを表します。
・点灯　：選局した周波数の電波を受信している状態を表します。
・点滅　：選局した周波数の電波を受信できていない(電波が弱い)状態を表します。
　　点滅状態では、緊急地震速報を受信できません。
・消灯　：AM バンドが選択されていません。

ご注意

● バンド・ランプが点灯していても雑音が多い場合、緊急地震速報を受信できません。
設置の際は必ず音質をご確認ください。

5.3 マルチパネル

・表示中の周波数が、緊急地震速報を受信する周波数となります。
・緊急地震速報の受信による通報動作中は、受信中の周波数を点滅表示します。
・キーロック中は、消灯します。
・周波数表示で、表示の必要が無い桁は、消灯します。

AM の周波数表示

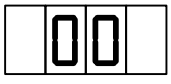
FM の周波数表示

・内部スピーカー, ライン出力の音量を表示します。

内部スピーカー表示　音量

ライン出力表示　音量

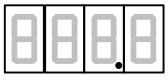
・訓練モードによる疑似通報動作中は、経過時間を表示します。


疑似通報開始

39秒経過

5.4 ドット・ランプ

・キーロック中は、電波低下警告音の設定を表します。点灯 :有効　消灯 :無効
・キーロック解除中にFM バンドを選択している場合は、周波数の小数点を表します。


キーロック中は電波低下警告音の有効を表示

FM の周波数表示

6 操作キー

・ キーの押下を受け付けたときに、「ピッ」（受付音）と鳴ります。
・ キーの長押しを受け付けたときに、「ピッピッ」（長押し受付音）と鳴ります。
・ 動作モードの停止を受け付けたときに、「ブー」（停止音）と鳴ります。
・ キーロック状態／訓練モード以外では、約 2秒以上無操作の場合、マルチパネルは現在のバンドの周波数表示に変わります。

6.1 AM/FM

・ 緊急地震速報を受信するバンド（AM／FM）を切り換えます。
　バンドを切り換える毎に、現在のバンドをメモリーに保存します。
・ マルチパネルが音量表示の時に、押下すると現在のバンドの周波数表示に変わります。

6.2 －選局＋

・ 押下毎に、現在のバンドの周波数が 【＋】:UP ／ 【－】:DOWN します。
・ マルチパネルが音量表示の時に、押下すると現在のバンドの周波数表示に変わります。
・ 長押しを続けると、周波数のUP/DOWN が早くなります。
　長押しで周波数が、最高／最低周波数に到達すると長押しがキャンセルされます。
・ FM バンドの選局範囲 ： 76.0MHz～90.0MHz、 0.1MHz 単位でUP/DOWN します。
・ AM バンドの選局範囲 ： 522kHz～1629kHz、 9kHz 単位でUP/DOWN します。
・ キー操作が終了するたびに、表示中の周波数をメモリーに保存します。

6.3 SP/LINE

・ 内部スピーカー／ライン出力どちらの音量を調整するかを選択できます。
　表示を切り換える毎に、内部スピーカー／ライン出力どちらの音量を表示したかメモリーに保存します。
・ マルチパネルが音量表示以外の時に押下すると、最後に調整した音量表示に変わります。

6.4 －音量＋

・ SP/LINE キーで選択した、内部スピーカー／ライン出力音量の調整ができます。
・ マルチパネルが音量表示以外の時に押下すると、最後に表示した出力先の音量が表示されます。
・ マルチパネルが音量表示中に押下すると、その出力先の音量が 【＋】:UP ／ 【－】:DOWN します。
・ 内部スピーカー, ライン出力とも、音量の設定範囲は、“0～ 56”です。
・ 長押しを続けると、音量のUP/DOWN が早くなります。
　長押しで音量が、最大／最小値に到達すると長押しがキャンセルされます。
・ キー操作が終了するたびに、表示中の音量をメモリーに保存します。
・ 緊急地震速報と訓練モードは、共通の音量です。

6.5 調整

・長押しでキー入力が受け付けられ、調整モードに入ります。
・各端子は、接続した外部機器を調整できるように緊急地震速報を受信したときの通報動作と同じ動作をします。
・構内スピーカーの音量調整を行うために、ライン出力と本機ラジオ・チューナーが接続されます。
・接続したページングアンプや回転灯を起動するためにメーク端子がONに変わります。
・ 訓練 キーは、無効です。
・調整モード中に、緊急地震速報を受信した場合、調整モードを強制終了して通報動作を行います。
・調整モードを解除するには、 調整 キーを再度長押ししてください。

6.6 訓練

・ 訓練 キー長押しで、内部スピーカー及びライン出力へ訓練放送を約40秒間流します。
・訓練中の各端子は、緊急地震速報を受信したときの通報動作と同じ動作をします。
・マルチパネル表示は、訓練開始からの経過時間（0～39秒、1秒単位）を表示します。
・内部スピーカー＆ライン出力には、速報検出音→「報知音＋訓練用固定メッセージ」が流れます。
・キーロック中の訓練モードでは、音量の調整ができません。
・キーロック解除中の訓練モードでは、内部スピーカー／ライン出力音量の調整ができます。
訓練モード中に変更した音量は、緊急地震速報の通報動作にも反映されます。
・訓練モード中に、キーを長押しすると訓練モードを終了します。
・キーロック中に訓練モードに入った場合、訓練モード終了後は、キーロック状態での緊急地震速報の受信待機状態になります。
・訓練モード中に、緊急地震速報を受信した場合、訓練モードを強制終了して通報動作を行います。
・「9. EEW100を使用した訓練」をご参照ください。
・調整モード起動中は、訓練モードは動作しません。

6.7 キーロック

・長押しでキー入力が受け付けられ、キーロック／キーロック解除に変わります。
・運用中は、誤操作を防止するためにキーロックを行ってください。
・キーロック／キーロック解除の状態は、メモリーに保存します。
・キーロック中は、 キーロック , 訓練 , - 音量 + キー以外のキー入力は、無効となります。
・「7.5 キーロック」,「7.6 キーロック解除」をご参照ください。

6.8 サーチ

・長押しでキー入力が受け付けられます。
・現在選択しているバンド内（AM or FM）で電波が強い周波数を選局します。
・電波が強い周波数を選局した場合、「ピッ」音と同時に周波数を点灯表示します。
・電波が強い周波数を選局できなかった場合、「ブー」音と同時にサーチ開始時の周波数を点灯表示します。
・サーチ中に何かのキー入力があった場合、「ブー」音と同時に動作を中断し、そのときの周波数を点灯表示します。
・サーチが終了／停止するたびに、表示中の周波数をメモリーに保存します。

ご注意

● 電波が強い周波数でも、雑音が多い場合はアンテナの向きを調整して雑音がない状態に調整してください。

6.9 内部スピーカー（背面スイッチ）

・内部スピーカーは、背面の内部スピーカー・スイッチにより下記の動作をします。

ライン入力　：キーロックに関係なく、ライン入力端子に接続した機器の放送が内部スピーカーに流れます。

AM/FM 音声　：キーロック解除中、現バンドで選択している周波数の放送内容が内部スピーカーに流れます。
キーロック中の緊急地震速報の受信待機中、内部スピーカーは無音になります。

・内部スピーカーから、キーの受付音，停止音が出ます。
・訓練モード時、内部スピーカーは背面の内部スピーカー・スイッチ状態に関係なく、設定された音量で訓練放送を流します。
・緊急地震速報の受信時、内部スピーカーは背面の内部スピーカー・スイッチ状態に関係なく、設定された音量で緊急地震速報を流します。

7 ＥＥＷ１００の設置

(1) 設定項目と外部接続端子

・ 設定の工場出荷値＆各端子状態は、下表のようになっています。
・ 各種設定は、設定内容が変更されるたびに保存されるので、電源をOFF にしても設定は消えません。

設定項目	工場出荷値	外部接続端子	緊急地震速報待機時
AM/FM バンド	AM バンド	ライン入力	ライン入力とライン出力 接続状態
AM バンド周波数	522kHz（最低周波数）	ライン出力	
FM バンド周波数	76.0MHz（最低周波数）	外部制御端子 メーク出力１ メーク出力２	OFF
内部スピーカー音量	25（0～56段階中）		
ライン出力音量	25（0～56段階中）		
SP/LINE	内部スピーカー音量から	－	－
キーロック	キーロックなし	－	－
内部スピーカー（背面スイッチ）	AM/FM 音声	－	－
電波低下警告音	無効	－	－

(2) 設置手順

・ 本機の設置は、下表の左から右への順序で行ってください。

構 成 例	設置に必要な設定＆操作				
	アンテナ 接続	選局設定	ライン入出力 接続	メーク端子 接続	キーロック （運用開始）
本機のみで使用する	○ →	○ →	× →	×※1 →	○
構内放送設備を接続する	○ →	○ →	○ →	×※1 →	○
ページングアンプを接続する	○ →	○ →	○ →	△※1※2 →	○

※1 回転灯をご使用になる場合、回転灯の制御線をメーク端子に接続してください。
※2 ページングアンプに起動信号が必要な場合、ページングアンプの制御線をメーク端子に接続してください。

7.1 アンテナ接続

準備する物　　製品には、下記のものは添付しておりません。
必要に応じて別途ご用意ください。

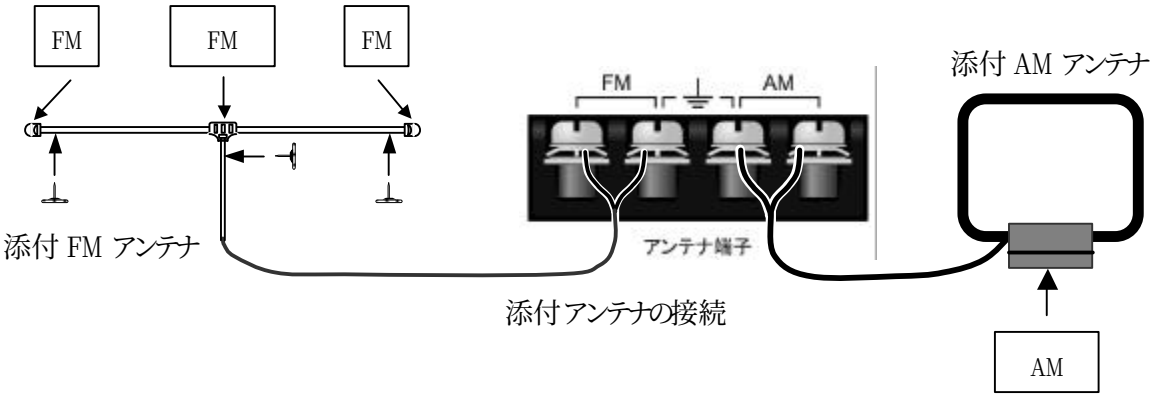
・ 本機にアンテナ線を接続するための⊕ドライバー
・ 添付 FM アンテナを固定するための蝶ねじ× 3

ご注意

- 本機を設置する場合、必ず本書の「安全上のご注意」をご精読いただき内容をよくご理解のうえ、ご使用ください。
- 本機は、地震予知や災害の軽減を保証するものではありません。
  地震が起こった時に速やかに行動できるよう、事前に避難訓練等を行ってください。
- 音声に雑音があると、緊急地震速報を正常に受信できません。
  アンテナの向き，設置場所等を変えて、雑音がないように調整してください。
- 本機は、バックアップ電源を有しておりません。　電源が供給されていない場合、通報動作はできません。
- 地震に起因するすべての損失や損害、および事故に対しては責任を負いかねます。　あらかじめご了承ください。

各アンテナの設置場所と向きが決まった場合、必ず動かないように添付の両面テープで固定してください。
アンテナ端子に添付のAM/FM アンテナ線を接続する場合は、下記のように接続してください。
添付の各アンテナには、極性がありません。
FM アンテナは、脱落防止のため画びょうで固定してください。

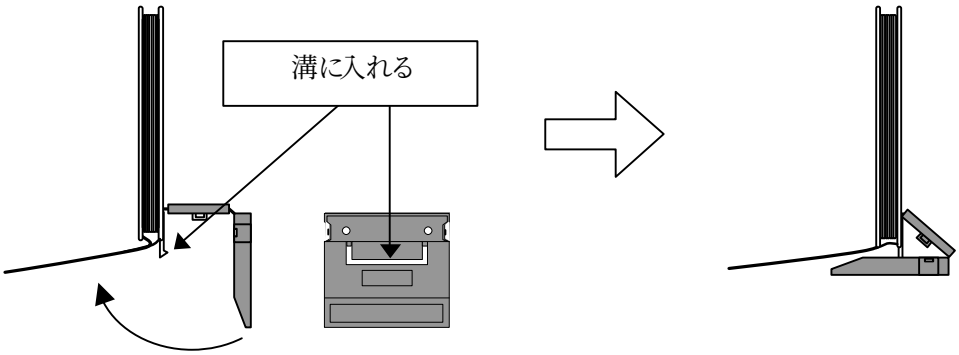
樹脂面に添付の両面テープを貼って仮固定し、位置が決定したら画びょうで固定



添付アンテナの接続

底面に添付の両面テープを貼って固定

添付しているAM アンテナは、下記の図を参考にして組み立ててください。



● 本機の各種設定を行います、 **7.2 選局設定** →

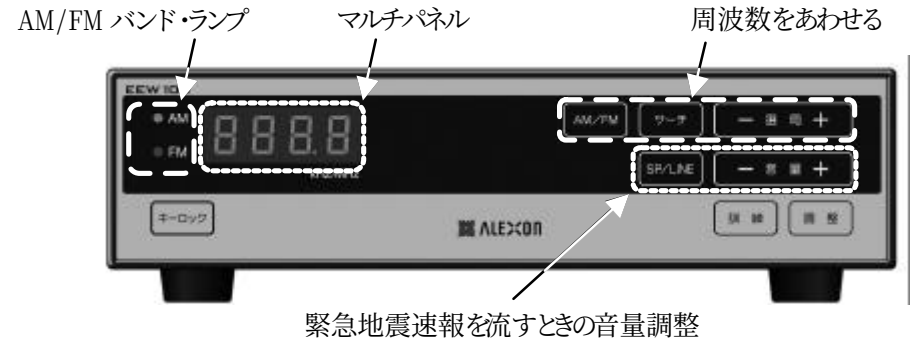
ワンポイント

添付アンテナと本機の設置場所が離れている場合、同軸ケーブル（3C2V以上）で延長ができます。
延長は、最長30mまで（但し、設置環境により延長距離が短くなることがあります）です。

ご注意

- 本機 FM アンテナ端子のインピーダンスは、75Ωです。
- 添付 FM アンテナは、必ず上図のように T の形になるように固定してください。
- アンテナ線を本機に接続する場合、電源プラグをコンセントに差し込まない状態で行ってください。
- 設置場所により、添付のAM/FM アンテナでは緊急地震速報を受信するのに必要な、電波の強度が得られないことがあります。
  その場合、市販の高感度アンテナをご購入のうえ、本機に接続してください（§3. EEW100 接続例」参照）。
- 添付アンテナ以外のアンテナをご使用になる場合は、必ず極性を確認して接続してください。

7.2 選局設定



手順

① 本機を設置する場所に本機を置き、電源プラグをコンセントに差し込みます。

⇩
- AM バンド・ランプ ：点滅（工場出荷値）
- マルチパネル ：“522”（工場出荷値）表示
- 内部スピーカ ：ラジオ・チューナーの音（工場出荷時）

② 緊急地震速報を受信するバンドを決めます。

⇩
- AM バンドを選んだ場合は、③に進んでください。
- FM バンドを選んだ場合は、⑤に進んでください。

③ AMバンドで、設置地域の周波数にあわせます。（「1.選局周波数」にてご確認ください。）

⇩
- AM バンド・ランプが点灯／点滅していない時、[AM/FM] キーを1回押してください。
- [－ 選局 ＋] キーの＋，－を押して※1、周波数をあわせます。

④ AM バンド・ランプが点滅から点灯に変わるように、AM アンテナの向きを調整してください。

⇩
- 点灯状態でも、音声に雑音が入っていると緊急地震速報を正常に受信できないことがあります。音声が明瞭に聞こえるように、AM アンテナの向きを調整してください。
- AM バンド・ランプが点灯し明瞭に聞こえる周波数が見つかった場合、⑦に進んでください。
- 見つからなかった場合、設置場所を変えて再度①から行ってください。
- 設置場所を変えても改善されない場合は、⑤に進んでください。

※1 「ピッピッ」と鳴るまで押し続けると、動作が早くなります。

ご注意

- 緊急地震速報の告知放送を受信した場合、本機は実際の緊急地震速報と判断して、通報動作を行うことがあります。
- AM バンドの電波は、時間帯や季節によって強弱が発生します。
  緊急地震速報の受信バンドをAM バンドに設定した場合、こまめにアンテナの調整が必要になることがあります。

手順

⑤ FMバンドで、設置地域の周波数にあわせます。(「11.選局周波数」にてご確認ください。)

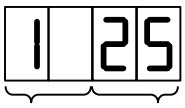
⇩
- FM バンド・ランプが点灯／点滅していない時、[AM/FM] キーを1回押してください。
- [－ 選局 ＋] キーの＋, －を押して※1、周波数をあわせます。

⑥ FM バンド・ランプが点滅から点灯に変わるように、FM アンテナの向きを変えてください。

⇩
- 点灯状態でも、音声に雑音が入っていると緊急地震速報を正常に受信できないことがあります。
  音声が明瞭に聞こえるように、FM アンテナの向きを調整してください。
- FM バンド・ランプが点灯し明瞭に聞こえる周波数が見つかった場合、⑦に進んでください。
- 見つからなかった場合、設置場所を変えて再度①から行ってください。
- 設置場所を変えても改善されない場合は、屋内もしくは屋外アンテナを購入し、
  再度設置しなおしてください。

⑦ 速報（緊急地震速報／訓練放送）を内部スピーカーで流す時の音量を設定します。

⇩



内蔵スピーカー　音量

- 音量は、AM/FM バンド共通です。
- [SP／LINE] キーを押して、マルチパネルを内部スピーカーの音量表示（左図参照）に切り換えます。
  約 2秒間放置すると、マルチパネルは周波数表示に戻ります。
- [－ 音量 ＋] キーの＋, －を押して※1、内部スピーカーからの音を聞きながら調整してください。
  マルチパネルが周波数表示に戻っても、内部スピーカーの音量表示（上記参照）に切り換えた後は、
  [－ 音量 ＋] キーの＋, －を押すだけで内部スピーカーの音量を調整できます。

⑧ バンド・ランプが点灯状態で、かつ音声が明瞭であることを確認して、アンテナを固定します。

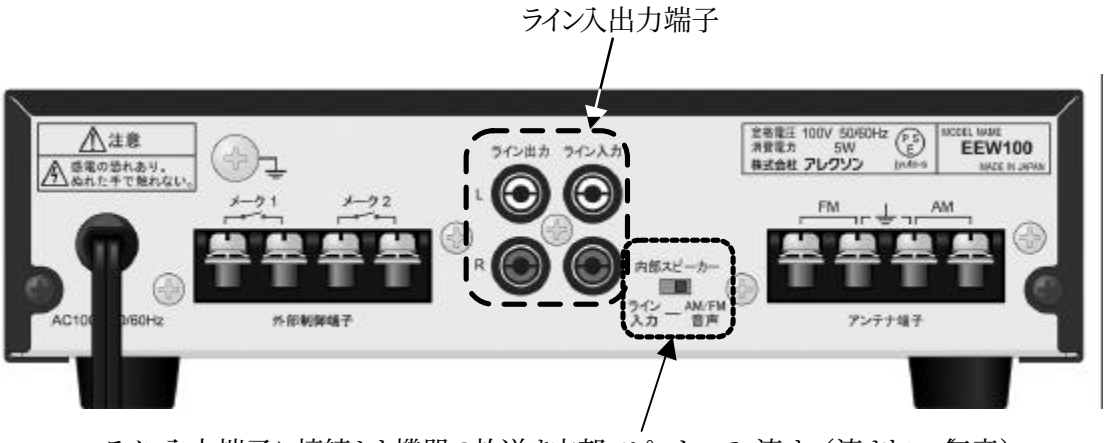
⇩
- 添付 AM アンテナは、アンテナの底面に添付の両面テープを貼り、固定します。
- 添付 FM アンテナは、アンテナの樹脂面に添付の両面テープを貼り、壁や天井に画びょうにて
  固定します。

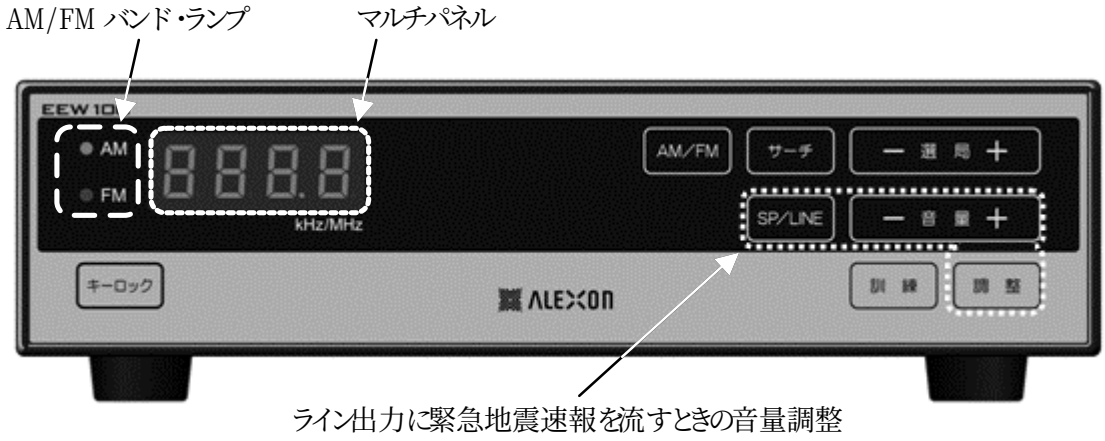
- 放送設備」,「ページングアンプ」を使用する場合は、**7.3 ライン入出力接続** →
- 本機を単体で使用し、回転灯を使用する場合は、**7.4 メーク端子接続** →
- 本機を単体で使用し、メーク端子を使用しない場合は、**7.5 キーロック** →

ワンポイント

- AM/FM バンドとも緊急地震速報を受信できる地域では、外来ノイズの影響を受けにくい FM バンドを
  緊急地震速報を受信するバンド」にすることをお勧めします。

7.3　ライン入出力接続





(1) 構内放送設備で緊急地震速報を放送したい場合、「構内放送設備に接続している音源機器と本機のライン入力端子」、「構内放送設備と本機のライン出力端子」をケーブルで接続します。

- 本機が緊急地震速報の受信待機中は、音源機器と構内放送設備が本機内部で接続され音源機器の内容が構内放送設備に放送されます。
- 緊急地震速報を検出すると、音源機器と構内放送設備を本機内部で切断し、構内放送設備と本機のラジオ・チューナーが本機内部で接続され、緊急地震速報が構内放送設備に放送されます。
- 通報動作から約40秒経過後、構内放送設備と本機のラジオ・チューナーを本機内部で切断し、音源機器と構内放送設備が本機内部で接続され、音源機器の内容が構内放送設備に放送されます。

(2) ページングアンプで緊急地震速報を放送したい場合、「ページングアンプと本機のライン出力端子」をケーブルで接続します。

- 本機が緊急地震速報の受信待機中は、ページングアンプは本機内部で切り離されています。
- 緊急地震速報を検出すると、ページングアンプと本機のラジオ・チューナーが本機内部で接続され、緊急地震速報が構内放送設備に放送されます。
- 通報動作から約40秒経過後、ページングアンプは本機内部で切り離されます。

ご注意

ライン入出力端子の仕様

- ライン入力 :RCA ピンジャック -22dBV/10kΩ
- ライン出力 :RCA ピンジャック -10dBV ～ -60dBV 以下(接続先のインピーダンスが5kΩの時)

手順

① 本機の電源プラグをコンセントから抜きます。

⇩

② 本機のライン入力端子。

⇩ (1) 構内放送設備

・本機のライン入力端子と音源機器をケーブルで接続します。

③ 本機のライン出力端子。

⇩ (1) 構内放送設備

・本機のライン出力端子と放送機器をケーブルで接続します。

(2) ページングアンプ

・本機のライン出力端子とページングアンプをケーブルで接続します。

④ 背面のライン入力スイッチをON（工場出荷時 OFF）にして、電源プラグをコンセントに差し込みます。

⇩ (1) 構内放送設備

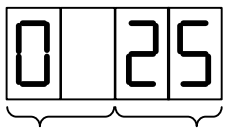
・音源機器の内容が内部スピーカーに流れます。
・音源機器の内容は、構内放送設備で放送されます（本機のライン入力とライン出力が接続状態）。
・音源機器から内部スピーカー/構内放送設備への放送は、本機で音量調整できません。
・背面のライン入力スイッチ：OFF の場合、表示中周波数の放送内容が内部スピーカーに流れます。
但し、運用を開始（キーロック中）すると、内部スピーカーは無音となります。

⑤ 調整 キーを長押しして、速報（緊急地震速報／訓練放送）を放送する時の音量を調整します。

⇩ (1) 構内放送設備, (2) ページングアンプ※1 共通

※1 起動信号が必要なページングアンプを使用する場合は、「7.4 メーク端子接続」 →

・ 調整 キーを「ピッピッ」と鳴るまで押し続けると、調整モードに入ります。
・調整するモードに入ると、「メーク端子：ON」,「ライン出力：本機のラジオ・チューナーと接続」,
「マルチパネル：周波数の点滅表示」に変わります。



・音量は、AM/FM バンド共通です。
・ SP／LINE キーを押して、マルチパネルをライン出力の音量表示（左図参照）に切り換えます。
約 2秒間放置すると、マルチパネルは周波数表示に戻ります。

・ － 音量 ＋ キーの＋，－を押して※2、外部のスピーカーからの音を聞きながら調整してください。
マルチパネルが周波数表示に戻っても、ライン出力の音量表示（上記参照）に切り換えた後は、
－ 音量 ＋ キーの＋，－を押すだけで外部のスピーカーの音量を調整できます。

※2 「ピッピッ」と鳴るまで押し続けると、動作が早くなります。

⑥ 調整モードを終了します。

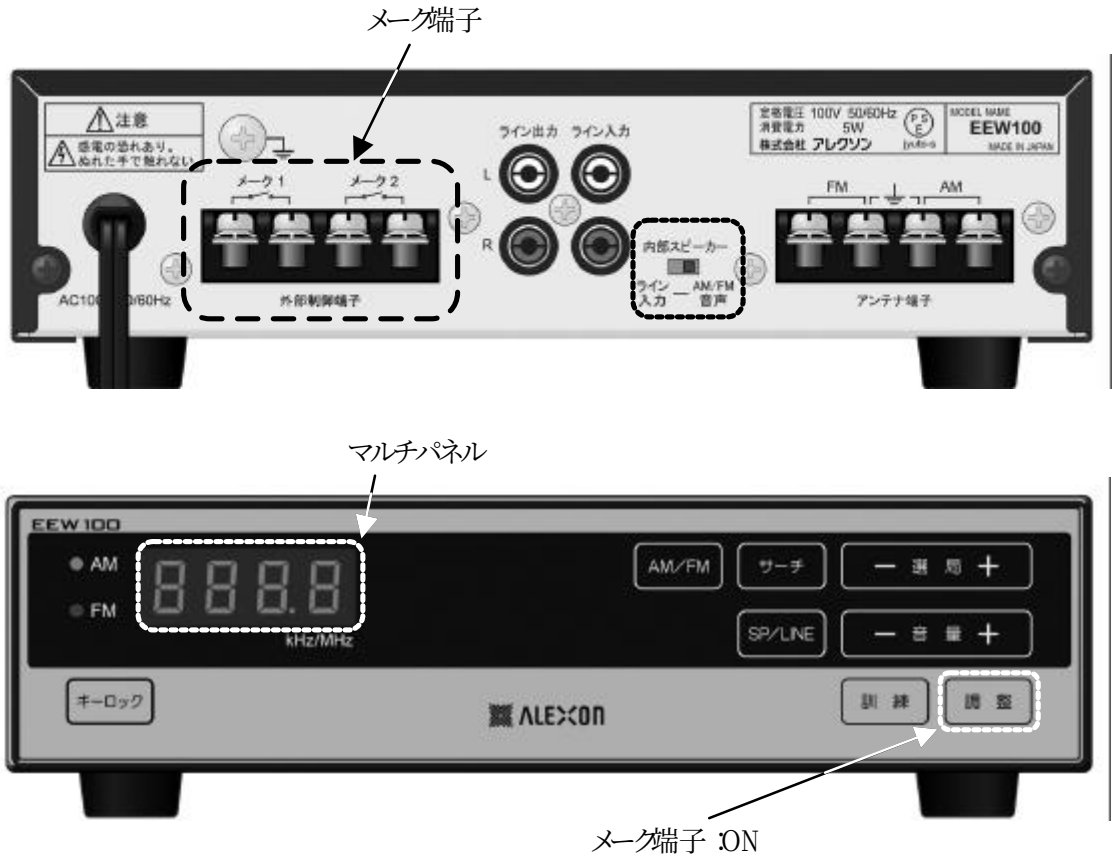
⇩ (1) 構内放送設備, (2) ページングアンプ 共通

・ 調整 キーを「ピッピッ」と鳴るまで押し続けると、調整モードを終了します。
・調整モードの終了で、「メーク端子 ：OFF」,「ライン出力 ：ライン入力と接続」,
「マルチパネル：周波数の点灯表示」に変わります。

● 起動信号が必要なページングアンプ」、または回転灯を使用する場合は、**7.4 メーク端子接続 →**

● メーク端子を使用しない接続で運用する場合は、**7.5 キーロック →**

7.4 メーク端子接続



・ メーク端子のメーク1, メーク2は、連動してON/OFF します。
・ 緊急地震速報の受信待機中は、メーク端子はOFF状態です。
・ 緊急地震速報を受信した場合、約 40秒間 ON 状態を継続します。
・ 訓練モードの場合、約 40秒間 ON 状態を継続します。
・ 各通報動作開始から約 40秒経過後、メーク端子はOFFに戻ります。
・ 調整モードの場合、調整モードを終了するまで ON 状態を継続します。

(1) 起動信号が必要なページングアンプを本機に接続する場合、ページングアンプの制御線を本機のメーク端子に接続します。

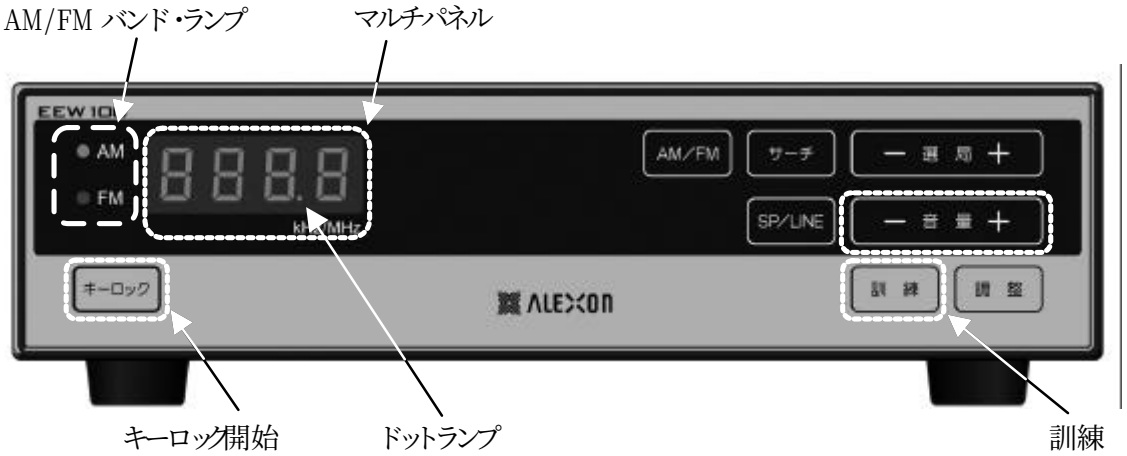
(2) 回転灯を本機に接続する場合、回転灯の制御線を本機のメーク端子に接続します。

● 運用を開始する　**7.5 キーロック →**

ご注意

- 一つのメーク端子に接続できる機器は、1台です。
  一つのメーク端子に複数の機器を接続した場合、故障や誤動作の原因となることがあります。
- メーク端子 (メーク1, メーク2) の仕様
  - 無電圧接点方式
  - 抵抗負荷 :DC 30V, 1A
- メーク端子 (メーク1, メーク2) に外部機器をつなぐ場合、必ず本機と外部機器をアースしてください。

7.5 キーロック



キーロックを行わなくても、緊急地震速報を受信すると通報動作を行いますが、誤ったキー入力による誤作動を防ぐために、必ずキーロック状態にしてください。
キーロック中は、キーロックの解除，訓練操作のみが可能です。

手順

① AM/FM バンド・ランプのどちらかが、点灯状態であるのを確認します。

⇩

② キーロックを行い、運用を開始します。

⇩ ・ [キーロック] キーを「ピッピッ」と鳴るまで押し続けると、キーロック状態になります。
・マルチパネルの数字が消灯し、電波低下警告音の設定によりドット・ランプが消灯または点灯します。
・本機のラジオチューナーによる放送が内部スピーカーで流れていた場合は、消音になります。

③ 緊急地震速報の運用を開始します。
・キーロック中は、[キーロック]，[訓練]，[- 音量 +] キー以外のキー入力は、無効となります。
・[訓練] キーで訓練モードを利用できます。 9. EEW100を使用した訓練」をご参照ください。

電波低下警告音

キーロック中、受信状況が悪くなったことや、放送休止を警告音で知らせる機能です。
警告音は内部スピーカーにのみ流れます。キーロック中、[- 音量 +] キーを2秒以上長押しすると、
有効／無効の切替(ピッ音)が可能です(設定は自動保存)。

	切替操作	設定表示	受信状況が悪くなった／放送休止」時の動作
有効	[- 音量 +] の【-】側	ドット・ランプ ：点灯	・選択中のバンド・ランプが点滅します。 ・内部スピーカーで警告音(ブーブー)が鳴り続きます。
無効 【初期値】	[- 音量 +] の【+】側	ドット・ランプ ：消灯	・選択中のバンド・ランプが点滅します。

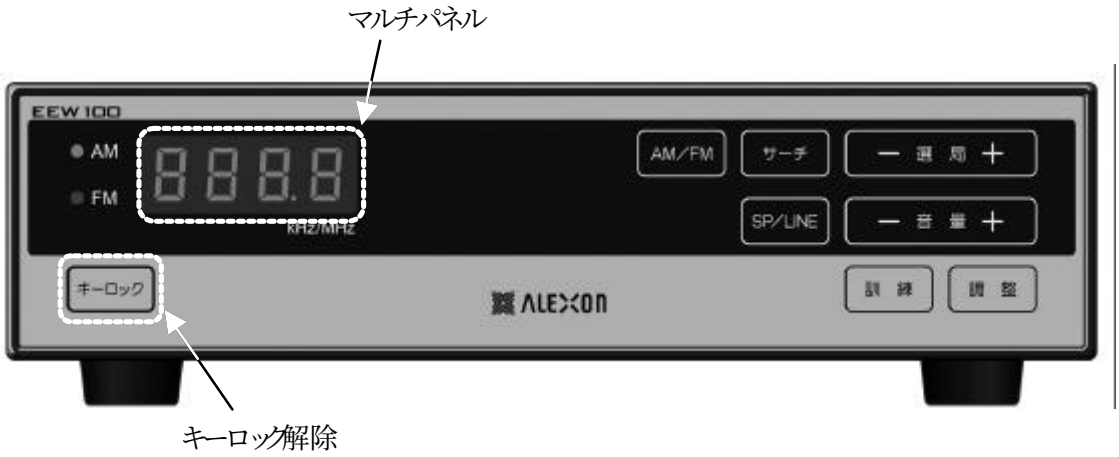
ワンポイント

電波低下警告音の設定が有効の場合、電波状態が良好になるまで電波低下警告音は、鳴り続きます。

ご注意

- 運用を開始するときは、必ずキーロックを行ってください。
  キーロックを行わないと、フロントパネルからのキー入力が受け付けられ、誤作動の原因になります。
- 電波低下警告音の設定が有効の場合、夜間等の放送休止中に警告音が鳴ることがあります。
- 運用中は、本書の「10. EEW100 定期点検」を参考にして、定期点検を行ってください。

7.6　キーロック解除



キーロックを解除することにより各種設定の変更が可能になります。

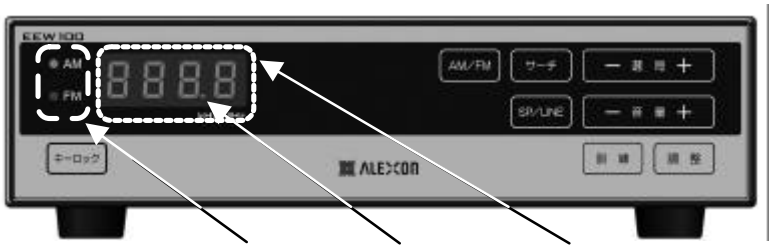
手順

① キーロック解除を行い、運用を停止します。

⇩ ・ キーロック キーを「ピッピッ」と鳴るまで押し続けると、キーロックを解除します。
・マルチパネルに選択している周波数が表示されます。

② 各種キー操作が可能になります。
・背面の内部スピーカー・スイッチが「AM/FM 音声」の場合、内部スピーカーからラジオ・チューナーによる放送が流れます。

8 ＥＥＷ１００の運用時の動作



8.1 緊急地震速報の受信待機中の動作

緊急地震速報の受信待機中は、下記の動作を継続して行います。

- キーロックでの運用中は、マルチパネルの数字部は消灯しています。
- AM バンド・ランプ / FM バンド・ランプどちらかが点灯状態です。
- ドット・ランプは、電波低下警告音の設定により点灯(有効)／消灯(無効)しています。
- 内部スピーカーは、本機背面の内部スピーカー・スイッチ状態に従います。
  （6.9 内部スピーカー 背面スイッチ)」をご参照ください）
- ライン入力とライン出力は、接続状態です。
- メーク端子は、全てOFF です。

8.2 緊急地震速報の通報動作

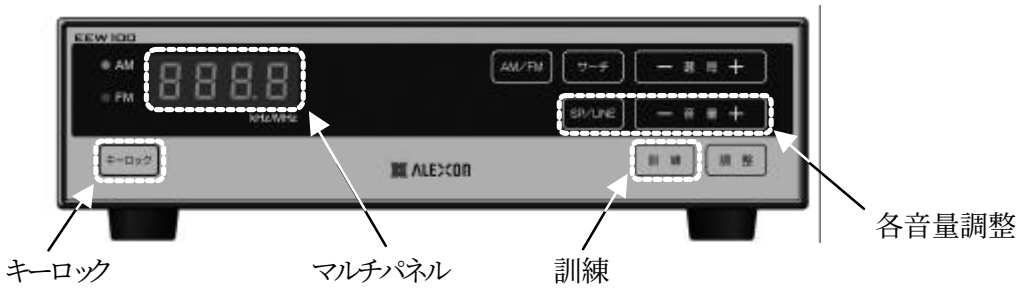
緊急地震速報を受信すると、下記の動作を約 40秒間行います。

- マルチパネルは、受信中の周波数を点滅表示します。
- AM バンド・ランプ / FM バンド・ランプは、どちらかが点灯状態です。
- 内部スピーカーには、速報検出音の後に緊急地震速報が流れます。
- ライン出力をとおして構内放送設備には、速報検出音の後に緊急地震速報が放送されます。
- メーク端子は、全てON に変わります。
- 通報動作中は、新たな緊急地震速報の報知音を検出しません。
- 通報動作を約 40秒間行うと、緊急地震速報の受信待機中に戻ります。

ご注意

- 本機の運用中は緊急地震速報を正常に受信するために、本書の「10. EEW100 定期点検」を参考にして、定期点検を行ってください。
- 緊急地震速報は、報知音が数回流れた後に地震についての情報が放送されます。
  本機は緊急地震速報に含まれる報知音を2 回連続で検出した時に動作するため、検出途中の報知音は内部スピーカ及びライン出力では聞こえません。

9 ＥＥＷ１００を使用した訓練



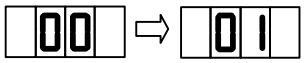
訓練モードで、「緊急地震速報」を想定した、避難訓練が行えます。

(1) 操作手順

① 訓練モードに入り、避難訓練を開始します。

⇩

・ 訓練 キーを「ピッピッ」と鳴るまで押し続けると、訓練放送が開始されます。
・ マルチパネルは、訓練モードの経過時間を表示します。



訓練放送開始　1秒経過

・ キーロック中は、音量の調整はできません。
・ キーロック解除中に SP／LINE キーを押して、マルチパネルを各音量表示に切り換え、
－ 音量 ＋ キーの＋，－を押すと、各音量が調整できます。
音量を変更した場合、緊急地震速報の通報動作にも反映されます。

内部スピーカー音量表示　ライン出力音量表示

・ 訓練放送を中止したい場合、 訓練 キーを「ブー」と鳴るまで押し続けると、
訓練放送が終了します。
・ 上記以外のキー入力は、無効となります。

② 約４０秒経過後、訓練モードを終了します。
・ 訓練を開始する前の状態に戻ります。

ご注意

- 訓練中に報知音を検出した場合、訓練を強制終了して緊急地震速報の通報動作を行います。
- 訓練モードで使用するメッセージは、実際の緊急地震速報のメッセージ内容と異なっています。
- 調整モード起動中は、訓練モードは動作しません。

10 ＥＥＷ１００定期点検

緊急地震速報が正常に受信できるよう、本機の運用中は定期的な点検をお願いします。

電源プラグとコンセント」，「外部機器接続部」にほこり等がたまると、火災や感電の原因となります。
必ず電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルを全て抜いてから、ほこりを取り除いてください。

点検を行うための操作は、下記のとおりです。

注意 ： キーの受付音は、内部スピーカーの放送内容と混ざることがあります。

手順

① キーロック解除を行い、運用を停止します。

⇩ ・ キーロック キーを「ピッピッ」と鳴るまで押し続けると、キーロックを解除します。
・ マルチパネルに選択している周波数が表示されます。
・各種キー操作が可能になります。

② 接続した機器の動作確認をする調整モードに入ります。

⇩ ・ 調整 キーを「ピッピッ」と鳴るまで押し続けると、調整モードに入ります。
・ 調整モードでは、「メーク端子 ：ON」，「ライン出力 ：本機のラジオ・チューナーと接続」，
「マルチパネル ：周波数の点滅表示」となります。
調整モードを終了するまで、上記状態を継続します。

③ 各端子に接続した機器等の動作を確認します。

⇩ ・音声に雑音がある等 受信状態が悪い場合、アンテナの向き等を調整してください。

④ 調整モードを終了します。

⇩ ・ 調整 キーを「ピッピッ」と鳴るまで押し続けると、調整モードを終了します。
・ 調整モードを終了すると、「メーク端子 ：OFF」，「ライン出力 ：ライン入力と接続」，
「マルチパネル ：周波数の点灯表示」に変わります。

⑤ キーロックを行い、運用を開始します。

・ キーロック キーを「ピッピッ」と鳴るまで押し続けると、キーロック状態になります。
・ マルチパネルの数字が消灯し、ドット・ランプが電波低下警告音の設定により
点灯(有効)／消灯(無効)します。
・ 「7.5 キーロック」をご参照ください。

11 選局周波数

AM/FM 周波数（1／5）

都道府県	放送局	NHK 第1 (kHz)	NHK 第2 (kHz)	NHK-FM (MHz)
北海道	札幌	567	747	85.2
	札幌大通	—	—	81.6
	小樽	—	—	84.5
	岩内	—	—	84.2
	芦別	—	—	83.8
	歌志内	—	—	84.3
	深川	—	—	84.0
	ニセコ	—	—	78.9
	函館	675	1467	87.0
	江差	792	1359	89.7
	旭川	621	1602	85.8
	名寄	837	1125	88.2
	知駒	—	—	89.1
	留萌	1161	1359	84.8
	稚内	927	1467	84.5
	遠別	792	1602	—
	富良野	—	—	84.2
	室蘭	945	1125	88.0
	浦河	1341	1602	86.1
	静内	—	—	84.0
	釧路	585	1152	88.5
	中標津	1341	1539	89.9
	根室	1584	1359	85.6
	帯広	603	1125	87.5
	北見	1188	702	86.0
	新北見	1584	—	84.5
	遠軽	1026	1539	—
	紋別	—	—	85.1
青森県	青森	963	1521	86.0
	弘前	846	1467	—
	八戸	999	1377	81.8
	十和田	1161	—	—
	田子	1026	—	—
	深浦	1584	—	—
	野辺地	846	—	—
	むつ	—	—	82.7
	上北烏帽子	—	—	83.4

都道府県	放送局	NHK 第1 (kHz)	NHK 第2 (kHz)	NHK-FM (MHz)
岩手県	盛岡	531	1386	83.1
	釜石	846	1602	85.1
	宮古	1026	1359	83.5
	大船渡	576	1359	—
	久慈	1341	1539	—
	遠野	1341	—	—
	山田	1323	—	—
	岩泉	792	1602	—
	田野畑	1224	—	—
	二戸	—	—	84.9
	一関	—	—	83.8
	野田	—	—	85.5
	室根	—	—	81.6
宮城県	仙台	891	1089	82.5
	鳴子	1161	—	85.2
	気仙沼	1161	1539	84.6
	志津川	981	—	85.2
	白石	—	—	84.3
秋田県	秋田	1503	774	86.7
	横手	1341	1602	—
	湯沢	1584	—	84.9
	大館	1161	1359	88.3
	花輪	1341	1521	83.8
	小坂	1584	—	—
	本荘	1026	—	83.9
	二ツ井	1026	—	—
	能代	—	—	83.6
山形県	山形	540	1521	82.1
	長井	—	—	84.6
	新庄	1341	1539	88.3
	米沢	1026	1359	84.2
	鶴岡	1368	1035	86.0
	温海	1584	—	—
	小国	1584	—	—

ご注意

- NHK は日本で発生した全ての地震に対しての緊急地震速報を放送するため、設置した地域と関係のない緊急地震速報でも、本機は通報動作を行います。
- 緊急地震速報の告知放送を受信した場合、本機は実際の緊急地震速報と判断して、通報動作を行うことがあります。

AM/FM 周波数（2／5）

都道府県	放送局	NHK 第１(kHz)	NHK 第２(kHz)	NHK-FM(MHz)
福島県	福島	1323	1602	85.3
	原町	1026	—	83.3
	郡山	846	1512	—
	会津若松	1161	1539	85.9
	いわき	1341	1539	86.1
	双葉	1161	—	—
	田島	1341	1602	—
	只見	1584	1359	—
	西会津	1368	—	—
	白河	—	—	84.3
	富岡	—	—	84.5
	勿来	—	—	83.6
東京都	東京	594	693	82.5
茨城県	東京	594	693	—
	水戸	—	—	83.2
	日立	—	—	84.2
	北茨城	—	—	82.9
栃木県	東京	594	693	—
	宇都宮	—	—	80.3
	葛生	—	—	82.9
	足利	—	—	83.7
群馬県	東京	594	693	—
	前橋	—	—	81.6
	榛名	—	—	80.5
	沼田	—	—	83.4
埼玉県	東京	594	693	—
	さいたま	—	—	85.1
	秩父	—	—	83.5
千葉県	東京	594	693	—
	千葉	—	—	80.7
	館山	—	—	79.0
	銚子	—	—	83.9
	勝浦	—	—	83.7
	白浜	—	—	82.9
神奈川県	東京	594	693	—
	横浜	—	—	81.9
	小田原	—	—	83.5

都道府県	放送局	NHK 第１(kHz)	NHK 第２(kHz)	NHK-FM(MHz)
新潟県	新潟	837	1593	82.3
	大和	—	—	83.5
	高田	792	1359	86.0
	津南	1161	1539	—
	相川	—	—	87.5
	糸魚川	999	—	85.1
	六日町	1323	—	—
	十日町	1341	—	—
	柏崎	981	—	—
	小出	1368	—	—
山梨県	甲府	927	1602	85.6
	富士吉田	1584	—	—
	三ツ峠	—	—	86.0
	身延	—	—	84.7
長野県	長野	819	1467	84.0
	小諸	1026	1539	—
	上田	1341	1602	—
	松本	540	1512	84.8
	善光寺平	—	—	85.7
	飯山	—	—	82.8
	飯田	621	1476	77.4
	岡谷諏訪	1584	1359	85.3
	駒ヶ根	999	1512	—
	木曽福島	981	1602	—
	伊那	1341	1539	—
	辰野	—	—	85.7
	高遠	—	—	85.0
	聖	—	—	83.0
富山県	富山	648	1035	81.5
	宇奈月	—	—	84.9
石川県	金沢	1224	1386	82.2
	輪島	1584	1359	—
	七尾	540	1467	84.4
	山中	1026	—	—
	羽咋	—	—	83.0

AM/FM 周波数（3／5）

都道府県	放送局	NHK 第1 (kHz)	NHK 第2 (kHz)	NHK-FM (MHz)
福井県	福井	927	1521	83.4
	敦賀	1026	1512	84.9
	大野	—	—	86.0
	小浜	1161	1359	87.8
	勝山	1584	1359	—
	美浜	—	—	85.9
	三方	1584	—	—
岐阜県	名古屋	729	909	—
	岐阜	—	—	83.6
	中津川	1161	1359	85.8
	高山	792	1125	86.1
	萩原	1341	1602	—
	白鳥	1161	—	—
	郡上八幡	846	1521	85.6
	土岐南	—	—	84.8
	下呂	—	—	84.4
	神岡	1341	1539	85.3
静岡県	静岡	882	639	88.8
	島田	—	—	83.0
	熱海	1161	—	84.2
	御殿場	1026	—	83.8
	下田	—	—	84.1
	伊豆長岡	—	—	85.3
	芝川	—	—	84.9
	浜松	576	1521	82.1
	中川根	—	—	83.4
	佐久間	1341	—	84.8
	東伊豆	—	—	83.3
	河津	—	—	82.2
	東佐久間	—	—	83.8
	水窪	1584	—	84.1
	春野	—	—	84.5
愛知県	名古屋	729	909	82.5
	豊橋	1161	1359	85.3
	新城	1026	—	—

都道府県	放送局	NHK 第1 (kHz)	NHK 第2 (kHz)	NHK-FM (MHz)
三重県	名古屋	729	909	—
	上野	1161	—	—
	津	—	—	81.8
	尾鷲	1161	1539	84.5
	熊野	1368	1602	84.9
	名張	—	—	84.4
	磯部	—	—	82.8
	大宮	—	—	84.1
	鳥羽	—	—	84.7
	宮川	—	—	81.4
	輪内	—	—	84.7
滋賀県	大阪	666	828	—
	大津	—	—	84.0
	彦根	945	—	—
京都府	大阪	666	828	—
	京都	621	—	82.8
	舞鶴	585	1602	84.2
	宮津	999	—	86.1
	福知山	1026	1359	84.8
	峰山	—	—	83.5
大阪府	大阪	666	828	88.1
奈良県	大阪	666	828	—
	奈良	—	—	87.4
	宇陀	—	—	88.5
	栃原	—	—	83.7
	東生駒	—	—	83.4
兵庫県	大阪	666	828	—
	神戸	—	—	86.5
	城崎	—	—	83.9
	豊岡	1161	1539	—
	西脇	—	—	89.2
	川西北	—	—	83.1
	氷上	—	—	88.6
	北阪神	—	—	88.6
	淡路三原	—	—	82.9
	姫路	—	—	84.2
	赤穂	—	—	83.2

ご注意

- NHK は日本で発生した全ての地震に対しての緊急地震速報を放送するため、設置した地域と関係のない緊急地震速報でも、本機は通報動作を行います。
- 緊急地震速報の告知放送を受信した場合、本機は実際の緊急地震速報と判断して、通報動作を行うことがあります。

AM/FM 周波数（4／5）

都道府県	放送局	NHK 第1 (kHz)	NHK 第2 (kHz)	NHK-FM (MHz)
和歌山県	大阪	666	828	—
	和歌山	—	—	84.7
	御坊	—	—	83.9
	新宮	1026	1359	83.8
	田辺	1161	1602	81.8
	古座	585	1602	—
	九度山	—	—	83.2
鳥取県	鳥取	1368	1125	85.8
	倉吉	1026	1359	—
	日野	—	—	84.0
	米子	963	1521	—
島根県	松江	1296	1593	84.5
	益田	1341	1539	—
	浜田	1026	1359	85.8
	江津	1323	—	—
	匹見	1584	—	—
	津和野	999	1359	—
	川本	1368	1602	—
	石見	846	1512	—
	六日市	1323	—	—
	邑智萩原山	—	—	78.9
	横田	—	—	83.6
岡山県	岡山	603	1386	88.7
	津山	927	1152	85.5
	新見	1341	1125	—
	久世	1323	—	—
	北房	1584	—	—
	笠岡	—	—	83.7
	児島	—	—	85.6
広島県 (1/2)	広島	1071	702	88.3
	呉	1026	1521	83.7
	三次	1584	1035	84.5
	東城	792	1602	—
	西条	—	—	83.3
	大崎	—	—	84.2
	佐東	—	—	84.3
	可部	—	—	83.4
	五日市	—	—	80.1
	黒瀬	—	—	82.8
	福山	999	1602	84.8
	福山木之庄	1161	1467	—

都道府県	放送局	NHK 第1 (kHz)	NHK 第2 (kHz)	NHK-FM (MHz)
広島県 (2/2)	庄原	1161	1359	—
	府中	1026	—	84.1
	世羅	1224	—	—
	福山蔵王	—	—	85.7
	三原	—	—	83.1
	安芸千代田	—	—	83.0
	南加計	—	—	82.0
	豊栄	—	—	81.9
山口県	山口	675	1377	85.3
	萩	963	1125	82.4
	下関	1026	1359	83.1
	岩国	585	—	85.0
	須佐	1368	—	—
	柳井	—	—	84.0
	美祢	—	—	84.5
	長門	—	—	83.5
	宇部	—	—	83.3
	山口鴻ノ峯	—	—	85.9
徳島県	徳島	945	—	83.4
	池田	1161	1359	85.0
	阿南	—	—	81.3
	阿波	—	—	84.4
香川県	高松	1368	1035	86.0
	観音寺	1584	—	—
愛媛県	松山	963	1512	87.7
	今治	792	1476	—
	新居浜	846	1035	87.0
	八幡浜	1368	1035	86.5
	宇和島	846	1602	84.8
	大洲	792	1476	85.9
	宇和	1584	—	—
	城辺	1341	1539	—
	野村	1323	—	—
	川之江	—	—	84.4
	大三島	—	—	83.8
高知県	高知	990	1152	87.5
	中村	999	1521	84.4
	安芸	—	—	83.8
	宿毛	1026	—	—
	大正	1368	1035	—
	須崎	1323	—	—
	窪川	1341	—	—

AM/FM 周波数 (5／5)

都道府県	放送局	NHK 第1 (kHz)	NHK 第2 (kHz)	NHK-FM (MHz)
福岡県	北九州	540	1602	85.7
	門司	—	—	82.2
	行橋	—	—	83.6
	筑前山田	—	—	82.9
	福岡	612	1017	84.8
	久留米	—	—	83.4
	大牟田	—	—	85.8
佐賀県	佐賀	963	—	81.6
	伊万里	531	—	—
	肥前有田	—	—	88.9
	唐津	1584	—	—
長崎県	長崎	684	1377	84.5
	福江	945	—	83.5
	大瀬戸	—	—	82.8
	島原	1584	—	82.7
	佐世保	981	1512	86.0
	平戸	1341	—	—
	諫早	927	—	83.0
	郷ノ浦	—	—	83.3
熊本県	熊本	756	873	85.4
	人吉	846	1602	82.8
	水俣	1341	—	82.5
	阿蘇	1503	—	—
	南阿蘇	1026	—	—
大分県	大分	639	1467	88.9
	佐伯	1161	1521	84.6
	日田	1026	—	84.2
	津久見	—	—	83.8
	竹田	1323	—	86.0
	玖珠	1341	—	82.3
	三重	—	—	85.0
	中津	981	—	86.2

都道府県	放送局	NHK 第1 (kHz)	NHK 第2 (kHz)	NHK-FM (MHz)
宮崎県	宮崎	540	1467	86.2
	延岡	621	1602	87.0
	都城	1161	1359	—
	小林	1026	1539	—
	日南	1341	1602	—
	高千穂	1584	1359	—
	串間	1026	1512	—
鹿児島県	鹿児島	576	1386	85.6
	鹿屋	—	—	84.1
	枕崎	—	—	84.7
	名瀬	792	1602	82.2
	阿久根	1026	1467	83.7
	種子島	—	—	84.4
	末吉	—	—	84.9
	栗野	—	—	85.9
	徳之島	1341	1539	81.6
	瀬戸内	1026	—	84.5
	知名	—	—	84.0
	東市来	—	—	84.3
	大口	1503	—	—
	宇検	(FM 波) 81.3MHz	—	—
	住用	(FM 波) 78.3MHz	—	—
沖縄県	沖縄	—	—	88.1
	那覇	549	1125	—
	今帰仁	—	—	84.8
	平良	1368	1602	85.0
	石垣	540	1521	87.0
	名護	531	—	—
	祖納	(FM 波) 85.2MHz	(FM 波) 83.1MHz	—
	久米島	—	—	84.2
	与那国	(FM 波) 83.5MHz	(FM 波) 80.3MHz	85.8

ご注意

- NHK は日本で発生した全ての地震に対しての緊急地震速報を放送するため、設置した地域と関係のない緊急地震速報でも、本機は通報動作を行います。
- 緊急地震速報の告知放送を受信した場合、本機は実際の緊急地震速報と判断して、通報動作を行うことがあります。

12 停電からの復旧

本機は、バックアップ電源を有しておりません。
必要に応じて、別途ご用意ください。
電源が供給されていない場合、通報動作はできません。

緊急地震速報の受信待機中に停電／復旧が発生しても、自動保存した設定の内容で起動※1します。

※1 設定内容が壊れていた場合、工場出荷値で起動します。

13 故障かな？と思ったとき

こんなとき	原因	処置
運用中にAM/FMバンド・ランプが点滅している。	・選択している周波数の電波が弱い。 ・夜間停波中である。	・「7.2 選局設定」を参照して、再設置を行ってください。 ・市販の高感度アンテナをご購入ください。高感度アンテナを設置し、本機に接続してください。 （弊社は、設置工事は行っておりません。）
運用中に「ブーブー」と音がする。		
緊急地震速報以外の放送が内部スピーカー／構内スピーカーに流れることがある。	緊急地震速報の告知放送を受信し通報動作を行うことがあります。	本機は緊急地震速報と告知放送の区別をすることができません。 ご了承ください。
緊急地震速報があったのに通報動作をしなかった。	・選択している周波数の電波が弱い。 ・音声に雑音がある。 ・「7.2 選局設定」以外に周波数をあわせている。	・「7.2 選局設定」を参照して、再設置を行ってください。 ・市販の高感度アンテナをご購入ください。高感度アンテナを設置し、本機に接続してください。 （弊社は、設置工事は行っておりません。）
電波が弱い／音声に雑音が入る。	本機の添付のアンテナでは、設置場所により音声が明瞭に受信できないことがあります。	市販の高感度アンテナをご購入ください。高感度アンテナを設置し、本機に接続してください。 （弊社は、設置工事は行っておりません。）
外部機器をメーク端子に接続すると音声に雑音が入る。	外部機器から本機に電気ノイズが入っています。	外部機器と本機をアースしてください。

14 主な仕様

項　　目		仕　　様
ラジオ	FM	76.0MHz ～ 90.0MHz　実用感度 30dBμ
	AM	522kHz ～ 1629kHz　　実用感度 15dBμ
外部接続端子	ライン入力	RCA ピンジャック -22dBV/10kΩ
	ライン出力	RCA ピンジャック -10dBV ～ -60dBV 以下(接続先のインピーダンスが5kΩの時)
	メーク1	・無電圧接点方式 ・抵抗負荷 DC 30V, 1A
	メーク2	
その他	装備	・バンド表示用 LED×2 (AM バンド・ランプ, FM バンド・ランプ) ・7 セグメントLED×4 (マルチパネル)
	操作スイッチ	・タクトSW×10 (AM/FM, サーチ, －選局, ＋選局, SP/LINE, －音量, ＋音量, 調整, 訓練, キーロック) ・スライドSW×1 (内部スピーカー)
	使用電源	AC100V±10%(50/60Hz)
	消費電力	緊急地震速報の受信待機中 ： 3W 以下, 通報動作中 ： 5W
	外形寸法	210mm(W) × 147mm(D) × 61.8mm(H)　(背面端子の突出部含まず)
	質量	約 1.2kg
	使用環境	温度 0～40℃, 湿度 20～80% (但し、結露なきこと)

※仕様および外観は、性能改善等により予告なく変更する場合があります。

15 オプション

オプションとして、本機固定用金具「WB100」がございます。
詳しくは、販売店にお問い合わせください。

ALEXON

保 証 書

機種名　EEW100　　お買い上げ日　　年　月　日

製造番号　　保証期間　**お買い上げ日より1年間有効**

お客様	貴社名／ご芳名	
	ご住所　〒	
	部署名	ご担当者名
	TEL	FAX
販売店	店名	住所

保 証 規 定

◆ 保証期間内に取扱説明書の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、弊社が無償修理致します。
◆ 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、商品と本書をご持参ご提示のうえ弊社に依頼して下さい。
◆ 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
- 使用上の誤りおよび不当な分解や修理・改造による故障および損傷
- お買い上げ後の取付場所の移動、輸送、落下などによる故障および損傷
- 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
- 本書のご提示がない場合
- 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

◆ お客様より、製品を発送いただく際の運送費につきましてはお客様のご負担とさせていただきます。
予め、ご了承願います。
◆ 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
◆ 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※ 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
※ 有償・無償にかかわらず、弊社では出張修理及び設置工事は行っておりません。

免責事項」

◆自然災害及び当社の責任以外の事故、お客様の故意、過失、誤用等により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負わないものとします。
◆本製品の使用及び、使用不能から生じる損害（記憶内容の消失、事業利益の損失等）に関して、当社は一切の責任を負わないものとします。
◆取扱説明書の記載内容以外の使用法により生じた損害について、当社は一切の責任を負わないものとします。
◆当社が関与しない接続機器及びソフトウェア等との組み合わせ使用により生じた損害について、当社は一切の責任を負わないものとします。

株式会社　アレクソン

お問い合わせ　サポートセンター　☎ 072－780－1101
受付時間　：月曜日～金曜日　9:20～12:00, 13:00～17:00
祝祭日、年末年始、弊社休日を除く
http://www.alexon.co.jp/

本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは、堅くお断り致します。
本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

2008.12.15
TIM2103G